

平成20年度事業報告

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

1 会議の開催状況(評議員会、理事会、技術審査委員会、地域技術選定委員会)

20.4.30 第1回理事会(書面表決)

議案 第1号 評議員の選任について

20.5.23 第1回評議員会

議案 第1号 平成19年度事業報告について

議案 第2号 平成19年度収支決算について

議案 第3号 平成20年度事業計画の変更について

第2回理事会

議案 第1号 平成19年度事業報告について

議案 第2号 平成19年度収支決算について

議案 第3号 平成20年度事業計画の変更について

20.6.30 第2回評議員会(書面表決)

議案 第1号 平成20年度事業計画の変更(追加)について

議案 第2号 平成20年度収支予算の変更について

第3回理事会(書面表決)

議案 第1号 平成20年度事業計画の変更(追加)について

議案 第2号 平成20年度収支予算の変更について

20.7.17 技術審査委員会

平成20年度研究開発助成事業 3件の審査

地域技術選定委員会

平成20年度地域技術起業化助成事業 2件の審査

20.10.28 第3回評議員会(書面表決)

議案 第1号 平成20年度事業計画の変更(追加)について

議案 第2号 平成20年度収支予算の変更について

議案 第3号 役員の辞任ならびに選任について

第4回理事会(書面表決)

議案 第1号 平成20年度事業計画の変更(追加)について

議案 第2号 平成20年度収支予算の変更について

議案 第3号 評議員の辞任ならびに選任について

21.3.25 第4回評議員会

議案 第1号 平成20年度収支予算の変更について

議案 第2号 財団法人函館地域産業振興財団就業規程の一部改正について

議案 第3号 平成21年度事業計画について

議案 第4号 平成21年度収支予算について

議案 第5号 平成21年度運営資金借入限度額について

議案 第6号 役員の辞任ならびに選任について

第5回理事会

議案 第1号 平成20年度収支予算の変更について

議案 第2号 財団法人函館地域産業振興財団就業規程の一部改正について

議案 第3号 平成21年度事業計画について

議案 第4号 平成21年度収支予算について

議案 第5号 平成21年度運営資金借入限度額について

議案 第6号 役員の辞任に伴う副理事長の選任について

議案 第7号 財団法人函館地域産業振興財団における最初の評議員の選任方法について

議案 第8号 評議員選定委員会外部委員の選任について

議案 第9号 追加議案：評議員選定委員会の運営の詳細について

2 事業の実施状況

(1) 債務保証・低利融資事業

平成20年度申込み実績なし

(2) 研修指導事業

産業技術研修

名称等	実施日	実施場所	講師等	参加人数
食品加工技術講習会	20年6月6日	ホテル函館ロイヤル	(財)日本食品分析センター 前田 浩子 氏	140名
売れる商品づくりセミナー	20年11月28日	函館国際ホテル	北海道銀行 法人営業部 菅原 直人 氏	61名
食品加工衛生管理研修会	21年2月5日 ~6日	工業技術センター	日本細菌検査(株) 代表取締役社長 戸ヶ崎 恵一 氏	63名
提案公募型技術開発事業公募説明会	21年2月19日	工業技術センター TV会議システム	北海道経済産業局他	12名
平成20年度デザインセミナー	21年3月7日	函館まちづくりセンター	公立はこだて未来大学 教授 岡本 誠 氏	50名

技術コンサルティング事業

企業の技術等の課題を解決するため、専門家を招聘してコンサルタントを実施した。

実施件数 3件

研修生受入れ

受入実績 4名

科学情報の提供

JOIS等を利用した特許情報の提供を行った。

異業種交流の推進

名称等	開催日	実施場所	内容等
2008年全道異業種交流のつどい in 函館	20年10月17日	五島軒	・基調講演 ・特別講演 ・ふれあい広場
内容：ふれあい広場にて、都市エリア成果品のPRを実施した。			

(3) 研究開発助成事業

高度技術開発の促進や高度技術を利用する企業の育成のため、次の3件について助成した。

企業名	研究開発テーマ名	助成額
株式会社函館セコニック	無機ELの三次元加工プロセスに関する基礎研究	2,043千円
株式会社iD	40G Ethernet-OAMの研究	3,000千円
株式会社寺島商会	高効率型の間熱式水産物乾燥機の開発	800千円

(4) 技術者研修助成事業

地域企業の技術者等を先進企業等に派遣して研修を行わせるために要する経費の助成を行った。
助成件数 1件

(5) 自主研究開発事業

地域のニーズを踏まえ、また、地域企業への技術移転も視野にいれ、次の3テーマについて研究を行った。

- ホタテ貝殻を用いた機能性複合粒子の物性評価に関する研究
- 一次産業廃棄物系バイオマスを利用したバイオエタノール製造に関する基礎検討
- 地域バイオ資源の機能性探索に関する研究

(6) 地域産業創出推進事業

地域特性を活かした多様な産業群の創出・育成を図るため、企業間や産学官の連携のもとに、地域が有する技術、ノウハウ、企業などの産業力と大学等が有する知的資源を活用しながら新たな産業創出をプロデュースし、かつ事業化していく持続的なシステムの構築を図り、中核推進組織の整備と地域産業創出に向けたプロジェクトの開発検討等を支援するため、次の3テーマについて研究開発を行った。

- 藻場造成用の海藻種苗移植システムの開発
- ガゴメ種苗の陸上栽培システムの開発
- 超親水性溶液による曇り止め剤の商品開発

(7) 新事業展開等促進事業

中小企業早期再生支援事業

- (ア) 厳しい経営状況にある中小企業に対し、企業再生を支援するための相談業務を行った。
相談企業 8件 相談件数 64件

(イ) 主な活動内容

名称等	実施日	実施場所	内容	出席人数 又は件数
平成20年度中小企業再生支援に係る関係連絡会議	20年 7月 8日	かでの2・7 10階 1050号会議室	中小企業再生支援協議会の活動状況の説明や関係機関による早期再生についての情報交換等	31名
中小企業再生支援事業に係る広報活動	20年 5月 2日 20年 5月 16日 20年 6月 18日 20年 7月 4日 20年 7月 25日 20年 7月 31日 20年 8月 11日 20年 8月 26日 20年 9月 5日 20年 10月 3日 20年 12月 12日 20年 12月 18日 20年 12月 22日 21年 3月 6日	道南の信用金庫 及び各関係機関	金融機関との連携体制の促進及び各関係機関に対する再生事業に係る協力関係を確保するため、広報活動の実施	25件

新事業展開事業

(ア) 企業の経営面、技術面等の課題を解決するため、IMの助言や他の支援機関や制度の紹介、更には専門家を招聘するなど、課題解決のための取り組みを行った。

相談数 47社 延べ183回

専門家派遣の状況

専 門 家	実 施 日	派遣先企業名等
室蘭工業大学 地域共同研究センター 教授 加賀 壽 氏	20年 4月10日	(株)函館セコニック
日本工業大学 教授 町田 輝史 氏	20年 6月16日	(株)函館セコニック
日本工業大学 教授 町田 輝史 氏	20年 9月17日	(株)函館セコニック
静岡大学 教授 中崎 清彦 氏	21年 1月27日	バイオマス活用技術研究会
(有)パディック 代表取締役 角本大弘 氏	21年 2月 6日	熊石深層水(株)
中小企業基盤整備機構新現役登録外部専門家 斎藤秀樹 氏	21年 2月 9日	(株)陽樹
アマノ(株)環境事業部 販売推進課長 鈴木康弘 氏他	21年 2月13日	(株)メデック
日本工業大学 教授 町田 輝史 氏	21年 3月 6日	(株)函館セコニック
中小企業基盤整備機構新現役登録外部専門家 斎藤秀樹 氏	21年 3月18日	(株)陽樹

(イ) 起業化を効率よく支援するための知識の習得や人的ネットワークを形成するため、情報交換会等に参加した。

名 称	実 施 日	内 容	出席者数
平成20年度第1回北海道IM連携促進会 (札幌市)	5月15日	IMの活動状況報告、情報収集、ノウハウの共有、ネットワークの構築等	1名
平成20年度第2回北海道IM連携促進会 (北見市)	10月9日	IMの活動状況報告、情報収集、ノウハウの共有、ネットワークの構築等	2名
JBIA 創立記念シンポジウム (東京都)	2月20日 ~2月21日	先を読む地域産業の創造をテーマにしたワークショップ等	2名
北海道IM連携促進会 運営委員会 (札幌市)	3月 9日	道内インキュベート施設との連携強化についてディスカッション	1名

IM：インキュベーション・マネジャー

(8) 広報等事業

財団の支援制度や工業技術センターの各種事業を紹介することを目的に次の事業を実施した。

区 分	事 業 内 容 等
PR事業	渡島・檜山管内の自治体、商工団体、企業を訪問し、工業技術センターの利用促進を図るために各種事業の説明を行った。
WEBサイト更新	函館・道南の頑張っている企業紹介コーナーのリニューアル
メールマガジンの発行	財団・工業技術センターや関連機関の情報発信

(9) 地域力連携拠点事業

函館商工会議所の委託事業として、渡島・檜山管内の各自治体が登録した地域資源を活用する企業に対して、認定に向けた助言、専門家の派遣等を実施した。

地域産業資源活用事業計画認定社数 4社

企業名	認定日	地域資源名
株式会社ハルキ(森町)	20年7月4日	道南スギ
有限会社日新商会(北斗市)	20年10月31日	コメ、ホッキガイ、ホタテガイ
有限会社バイオクリエイト(函館市)	20年10月31日	ガゴメ
日乃出食品株式会社(七飯町)	21年2月20日	横津岳の水

専門家派遣の状況

専門家	実施日	派遣先企業名等
静岡大学 教授 中崎 清彦 氏	20年9月19日	バイオマス活用技術研究会
北海道大学 准教授 田島 健次 氏 他	20年10月10日	バイオマス活用技術研究会
食・工房ミイロトータルフードコーディネータ 高井瑞枝 氏	20年10月14日	熊石深層水(株)
アサントテ経営労務事務所 中小企業診断士 手島 伸夫 氏	21年3月12日	熊石深層水(株)

(10) 高度技術開発事業

研究開発事業

(ア) 高度技術開発・応用研究事業

地域のニーズに根ざした次の10テーマについて、研究開発を実施した。

- a 水産食品製造業における工学的インプルの適用に関する研究(H20~22)
- b 未利用エネルギーの有効活用に関する研究(H19~21)
- c 機能性耐磨耗性材料の開発(H18~20)
- d 農水畜産系高分子のリサイクル技術の開発(H20~22)
- e 真空技術による光機能素子の作成に関する研究(H18~20)
- f 食品水分状態を指標としたドライシステムに関する研究開発(H20~22)
- g 生物情報の有効活用と地域バイオマス資源の高付加価値化に関する研究開発(H20~22)
- h 農水産資源の素材を活用した商品化に関する研究開発(H20~22)
- i 分子生物学的手法を利用した水産食品等の品質評価技術に関する研究開発(H20~22)
- j 水産タンパク質資源の有効利用技術に関する研究開発(H18~20)

(イ) 起業化支援等研究推進事業

大学、公設試験研究機関、企業との共同研究並びに起業化に関する調査を実施した。

試験分析事業

地域企業からの依頼を受けて、材料の強度試験、成分分析、食品の微生物検査等の各種依頼試験・分析を実施した。

依頼試験・分析件数 244件

技術相談事業

(ア) 個別技術相談

地域企業からの技術的課題等についての相談を受け、助言をした。

個別技術相談件数 569件

(イ) 巡回技術相談

地域企業の技術向上を図るため、センターの研究員が生産現場を巡回し、各企業の当面する技術的課題について相談を受け、助言をした。

相談件数 18件

研修事業

研究開発の成果や新技術の普及等を図るため、次の発表会及び研修会を実施した。

(ア) 一般技術研修

内 容	実 施 日	参加人数
研究成果発表会 都市エリア産学官連携促進事業成果発表会	20年7月15日	204名
JAS法食品表示について - 表示制度と科学的検証技術 -	20年10月31日	35名
計測・制御技術	21年1月22日	10名
食品・バイオ技術研修会	21年2月10日	25名

(イ) 実技技術研修

内 容	実 施 日	参加人数
材料分析テクニカルセミナー	20年11月12日 ~20年11月14日	7名
ICP-Mass 分析装置を応用した微量元素の分析技術	21年3月11日	5名

(ウ) 個別技術研修

企業等の多様化する技術的課題に対応する研修を実施した。

開催回数 32回

開催日数 44日間

参加人数 55名

技術情報提供事業

日本工業規格(JIS)の最新版、工業技術に関する専門図書、国内研究機関・大学・大手企業等の研究報告書、定期刊行物等を図書資料室に開架し、一般の利用に供した。

広報等事業

工業技術センターの積極的な活用を図るため、次の事業に参加・実施した。

事 業	実 施 時 期	内 容
「HITEC」ニュースのホームページ	20年6月、9月、12月、21年3月	活動報告を中心とした技術情報の提供
「業務報告」の発行	20年6月	平成19年度工業技術センターの業務内容の報告、発行部数：1,700部
フーマジヤパン2008 (国際食品工業展)アガミックラザ	20年5月27日~ 20年5月30日	研究開発成果の紹介と展示(東京都)
北海道産品取引商談会	20年6月10日~ 20年6月11日	研究開発成果の紹介と展示(札幌市)
北海道洞爺湖サミット記念・環境総合展2008	20年6月19日~ 20年6月21日	研究開発成果の紹介と展示(札幌市)
第7回産学官連携推進会議	20年6月20日~ 20年6月21日	研究開発成果の紹介と展示(京都市)

第4回はこたて水産食品展示フェア	20年 6月 25日	研究成果品展示等（函館市）
全国ビジネスマッチング in 札幌	20年 9月 8日～ 20年 9月 9日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
パイオジャパン 2008	20年 10月 15日～ 20年 10月 17日	研究開発成果の紹介と展示（横浜市）
食品開発展 2008	20年 10月 15日～ 20年 10月 17日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
（株）日本食品開発研究所 第18回講演会	20年 10月 23日	研究開発成果の紹介と展示（京都市）
サッポロヘルス & ピューティフェア 2008	20年 10月 25日～ 20年 10月 26日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
北海道技術・ビジネス交流会	20年 11月 13日～ 20年 11月 14日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
クラスタージャパン 2008	20年 12月 2日～ 20年 12月 3日	研究開発成果の紹介と展示（横浜市）
北海道食の商談・販売会	21年 1月 16日～ 21年 1月 17日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
第6回ジャパンインターナショナルシ ーフードショー	21年 2月 4日～ 21年 2月 5日	研究開発成果の紹介と展示（大阪市）
スーパーマーケット・トレードショー	21年 2月 11日～ 21年 2月 13日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
北海道産品取引商談会	21年 2月 24日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
2008 サンエスコンフェクショナリー・ フェア	21年 2月 25日	研究成果品展示等（東京都）
北海道産品取引商談会	21年 2月 26日	研究開発成果の紹介と展示（大阪市）
北海道ビジネスフォーラム 2009	21年 3月 3日	研究成果品展示等（札幌市）
Foodex Japan2009	21年 3月 3日～ 21年 3月 6日	研究開発成果の紹介と展示（千葉市）

地域産業化支援事業

地域における産学官の連携を図り、大学や工業技術センターの技術シーズの地域企業への移転を促進し、新製品や新事業の創出を図ることを目的に下記の事業を実施した。

- ・簡易迅速細菌検査システムの製品化に向けたデバイスの開発
- ・食品関連分野をマーケットとしたマイクロバブル応用製品の産業化

北海道立工業技術センター管理運営事業

北海道から委託を受けて、工業技術センターの運営並びに機器等の維持管理を行った。

また、北海道から指定管理者の指定を受けて工業技術センターの維持管理を行った。

視察等来場者数：約 800 名

受託研究開発等事業

企業等における研究開発や新製品の開発を促進するため、受託研究及び共同研究を実施した。

- ・受託研究 4 件

・共同研究 18件

都市エリア産学官連携促進事業「発展型」(事業期間：18年度～20年度)

文部科学省の委託事業で、平成15年度～17年度に行った都市エリア産学官連携促進事業(一般型)をさらに推進し、科学に基づいた技術力により、国産の安全安心な食料供給基地を創出し、地域経済はもとより、我が国の科学技術の高度化への貢献を目指すものである。

地域の「知」を結集して国内・外に通用する新技術、新商品を開発し、水産業、水産加工業といった食料供給基地の機能に加えて、地域にこれまでなかった健康食品産業、医薬品産業を興し、水産・海洋に特化した領域において、生産、加工、流通、消費までの一貫した高度な産業機能を内包することにより、新産業創出体系を備えた持続的に発展可能な都市エリアを創出した。

平成20年度は、次の事業を実施した。

事業	内容
(ア) 共同研究事業	a 特殊成分の組成・ゲノム解析・連鎖型マリンガーデンシステムの構築 b 機能性成分の医・薬・工・食分野における利活用 c 機能性と感質に基づいたフードデザインシステム d 生体組織の機能保持メカニズムの解明と応用 e 公定法を超える高感度の分子生態学的微生物モニタリングシステム f 生体成分情報による生物種・産地鑑定とトレーサビリティ
(イ) 研究交流事業 (地域負担事業)	a 推進委員会(2回) b 外部評価委員会(2回) c 研究調整・事業化推進会議(11回) d 研究成果発表会(2回) e 成果等の発表(5回) ・第4回はこだて水産食品展示フェア(函館市水産物地方卸売市場) ・北海道技術・ビジネス交流会(アクセスサッポロ) ・クラスタージャパン2008テクノフェア(パシフィコ横浜) ・バイオジャパン2008(パシフィコ横浜) ・食品開発展2008(東京ビックサイト) f 事業PRパンフレットの作成 g ホームページの作成

広域的新事業支援連携等事業費補助事業（函館地域バイオ産業クラスター推進事業）

北海道経済産業局の委託事業で、当地域の特色であるマリン・バイオ分野の研究成果を引き継ぎ、実用化の担い手となる当該地域の企業群と推進組織の有するビジネスネットワーク等との連携・補完を図りながら各種展示会やビジネスマッチング等の機会を活用し、市場ニーズに的確に対応した商品開発や販路開拓支援等を実施した。

事業	内容
(ア) ネットワーク形成事業	クラスター連携会議（1回）
(イ) 新事業創出支援事業	都市エリア事業成果品の技術・品質評価、販路開拓・拡大調査 ・実施企業数：5社 ・実施テーマ：「水産珍味製品」、「昆布製品」、「イカ墨色素」、「餃子皮および生麺」、「高鮮度魚介類」
(ウ) 連携促進事業	a 全国バイオビジネスマッチング in 札幌 b 北海道 - ニュージーランド：バイオ産業交流研究会 c サッポロ ヘルス&ビューティフェア 2008
(エ) 販路開拓支援事業	a 第24回北海道産品取引商談会・札幌会場 b 第22回北海道産品取引商談会東京・大阪会場 c バイオジャパン 2008 d 食品開発展 2008 e 2009 スーパーマーケット・トレードショー f 2009 サンエスコンフェクショナリー・フェア g FOOD EX JAPAN 2009

(11) 地域産業活性化事業

地域技術起業化助成等事業

地域企業が起業化に向けて行う事業に対し、次の2件について助成した。

企業名	研究開発テーマ名	助成額
株式会社富士海洋土木	海藻増殖ブロックの研究開発	5,000千円
有限会社パテントワークス	有酸素運動を促進する高機能商品の品質向上開発事業	1,262千円

市場・販路開拓等事業

(ア) 地域技術・製品市場販路開拓事業

a 北海道洞爺湖サミット記念・環境総合展2008

工業技術センターが研究している環境に関連した技術の紹介や、道南地域の企業の環境関連製品を展示した。

会期 平成20年6月19日～平成20年6月21日

会場 札幌ドーム（札幌市）

入場者 83,742名

b 第22回北海道技術・ビジネス交流会（ビジネスEXPO）

「はこだて21ビジネス交流ゾーン」を設置し、地域企業等の市場開拓・販路拡大を支援した。

会期 平成20年11月13日～平成20年11月14日

会場 アクセスサッポロ（札幌市）

入場者 18,130名

【出展内容】

企業名	主な出展品
有限会社エイトファーム	無臭地帯フラボ(消臭剤)他
株式会社エルフィン	ペーパーライト・ネオ他 EL 関連商品
加藤組土建株式会社	重金属を含む土壌の改良材、環境共生 LED 照明
国産製菓株式会社	モツチーノ、きびだんご、昆布餅等
株式会社コーノ	ヒートサイフォンパーマネントヒーター (HPH)
株式会社シンプルウェイ	8mmフィルム等の編集、デジタル化ビジネス
函館酸素株式会社	液体窒素凍結保存容器、手のひらサイズの各種ガスボンベ
有限会社パテントワークス	ReBNA (鼻呼吸をサポートするトレーニングマスク)
株式会社ハンダ	ホイール風船膨らませ販売機、シンクピア
財団ブース	共同研究等の紹介 ・だったんそば(有現会社大中山ふでむら) ・セグメント EL (株式会社函館セコニック) ・ナマリフリー弾頭(株式会社フジワラ) 都市エリア事業成果品の紹介 ・かごめ昆布関連商品 ・イカスミを原理用とした可食性インク ・迅速細菌検査システム 地域新生コンソーシアム事業研究成果 ・「観察・化学分析・電気特性測定が同時に可能な X 線顕微鏡の開発」の紹介

c 北海道食の商談・販売会

地域企業の販路拡大を目的に、(独)中小企業基盤整備機構が開催したビジネスマッチング商談会に、地域資源活用プログラム認定企業、都市エリア参画企業と出展して側面支援を行った。

会期 平成21年1月16日～17日

会場 (独)中小企業基盤整備機構アンテナショップ RIN (東京都)

d 2009スーパーマーケット・トレードショー

この展示会は、主にスーパーマーケットなどのバイヤーを対象に開催されており、函館のブースの補助を行い、出展企業を支援した。

会期 平成21年2月11日～13日

会場 東京国際展示場(東京都)

入場者 78,478名

e 北海道ビジネスフォーラム 2009

地域企業の販路拡大のため、北海道銀行が開催したビジネスマッチング商談会に、都市エリア事業の成果品を展示して PR を行うとともに、企業の販路開拓を側面支援した。

会期 平成21年3月3日

会場 ホテルロイトン札幌(札幌)

(イ) 出展支援助成事業

函館地域企業等が展示会等に参加し、自社の有する技術シーズをPRし、販路拡大を図るとともに、需要の開拓に必要な情報や他社の技術動向に関する情報等を収集するなどの企業における技術開発を円滑に推進するため一定の助成を行った。

企業名	会期	展示会の名称	助成額
(有)せかい	20年5月15日～17日	神戸国際宝飾展	400千円
(有)パテントワークス	21年3月3日	北海道ビジネスフォーラム2009	320千円

起業化促進事業

(ア) 起業化コーディネート事業

起業化を促進するため、職員を派遣して相談及び技術ニーズやシーズの調査を行った。

実績 2件

(イ) 起業化スタートアップ実技研修事業

名称等	実施日	実施場所	講師等	参加人数
パソコンによる写真編集実技研修会	20年 7月23日	函館市産業支援センター	(株)グローバル・コミュニケーションズ 伊藤智亮、木戸浦 康之 氏	24名
	20年 7月24日			
	21年 2月18日			
	21年 2月19日			
パソコンによるイラスト作成実技研修会	20年 9月17日	函館市産業支援センター	(株)グローバル・コミュニケーションズ 伊藤智亮、木戸浦 康之 氏	23名
	20年 9月18日			
	21年 2月25日			
	21年 2月26日			
パワーポイント作成実技研修会	20年11月26日	函館市産業支援センター		12名
	20年11月27日			

函館地域産業活性化企業誘致活動事業

函館地域産業活性化協議会として経済産業省の補助を受け、函館地域の立地環境の優位性をPRするためのパンフレットの作成や配布、ホームページの開設及び首都圏で開催された企業立地セミナーへの参加等、地域一体となった企業誘致活動を展開した。

(ア) パンフレット作成 3,000部

(イ) 首都圏食料品製造業者へのパンフレット配布 1,049社

(12) 函館市産業支援センター運営事業

函館市から指定管理者の指定を受け、産業支援センターの運営並びに建物機器の管理を行うとともに、IT起業家支援施設(eスペースはこだて)の施設管理を行った。

函館市産業支援センター利用実績

- ・ インキュベータールーム入居 4社
- ・ インキュベーターファクトリー入居 3社
- ・ マルチメディアルーム・デザイン開発室利用者 723名
- ・ 視察者 36名
- 「eスペースはこだて」利用実績
- ・ インキュベーター入居 3社

(1 3) 平成 20 年度高専等を活用した中小企業人材育成事業

経済産業省中小企業庁の委託事業として、中小企業の現場技術者を育成するため、函館高専等有する設備やノウハウを活用し、地域の中小企業のニーズに則した講義と実習を一体的に実施した。

平成 20 年度は、次のプログラムにより実施した。

カリキュラム	実施日	講座数	受講者数
とにかくやってみようパソコン構造力学	20 年 9 月 2 日 ~ 9 月 30 日	4 講座	54 名
コンクリート主任技士・診断士への道	20 年 8 月 28 日 ~ 10 月 2 日	5 講座	117 名
パソコンでらくらく学ぶコンクリートの材料と構造	20 年 10 月 14 日 ~ 11 月 4 日	4 講座	22 名
実践環境分析と L C A	20 年 10 月 9 日 ~ 10 月 30 日	4 講座	18 名
建設業における財務と経営マネジメント	20 年 11 月 6 日 ~ 12 月 4 日	5 講座	43 名
見て触れて体験できる土木実験	20 年 11 月 22 日 ~ 12 月 13 日	4 講座	22 名
建設現場のここが大事	21 年 1 月 20 日 ~ 2 月 10 日	4 講座	28 名
技術論文作成とプレゼンテーション	21 年 1 月 22 日 ~ 2 月 19 日	5 講座	38 名
合 計		35 講座	342 名